

おおいた国際交流プラザ
OITA INTERNATIONAL PLAZA

vol. **29**
2011

La Estación

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるようお願いを込めてつけました。

寄稿 多文化共生なくして地域に未来なし!

第5回 **外国人住民・留学生の就職**.....1-2

自治体の紹介 豊後大野市.....3

団体の紹介 大分韓国教育院.....3

国際的に活躍している人々の紹介.....4

大野博司氏

JICAデスク大分からのお知らせ.....4

Event Calendar.....5-6

私たちの声を聞いてください!.....7

メリッサ・メイヤー氏

Information.....7

(財)大分県文化スポーツ振興財団

「アンテロープ・キャニオン(アメリカ合衆国アリゾナ州)」
写真家 (Glocalist) 小原隆弘 地遊村: <http://www.jiusion.com>

第5回

外国人住民・留学生の就職

昨年度のNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の副代表理事高木知彦氏（滋賀県商工観光部国際課 主査）、同理事高橋伸行氏（舟橋市子育て支援部児童家庭課 主査）、同理事前川仁三夫氏（NPO法人とんだばやし国際交流協会 事務局長）のリレー寄稿に引き続き、今年度は、国際交流協会職員の須磨珠樹氏（（財）かながわ国際交流財団多文化共生・協働推進課）、須藤伸子氏（（財）仙台国際交流協会 企画事業課企画係）、原由理恵氏（射水市民国際交流協会）にバトンタッチし、各協会における多文化共生施策についてご紹介いただく予定です。第5回目は須藤伸子さんの寄稿です。

▶ 仕事がない!?

経済不況が続いています。この春卒業なのに就職が決まらない学生さんや、職場で突然解雇されたという人が、私の周りにもたくさんいます。そんな中、日本語が不十分で、習慣・文化が異なる外国出身者の就職は、更に厳しい状況でしょう。仙台でも、ハローワークには外国人専用の窓口があり、外国語相談も行っていますが、募集自体が少なく、パートタイムのアルバイトでも、なかなか見つからないそうです。当協会では、「外国籍市民懇談会」を年3回開催していますが、日常生活から将来のことまで、いろいろな話を聞く中で、「日本語を早くおぼえて、家族のために仕事をしたい」という声をよく聞きます。もちろん、職を持って頑張っている人もいますが、外国人だからという理由で、面接を断られたり、契約を切られたりという話も後を絶ちません。就職できても、職場の人間関係で苦しんでいる、差別を受けているという声も聞きます。しかし、外国人だからという理由でその能力が活かされないといえれば、それは地域にとっても損失です。受け入れる職場・受入社会側の異文化に対する理解が進むことを願いつつ、当協会が今年関わった求職者のためのサポート事業を2つご紹介します。

▶ 就労準備研修

今年度、（財）日本国際協力センターが厚生労働省の委託を受けて実施する「日系人就労準備研修」に協力し、仙台国際センターで実施しました。日系南米人を主対象とする事業でしたが、仙台では外国人登録者の45%が中国籍ということもあり、受講生9名はすべて中国出身でした。8月末から12月までの約4カ月間、夕方6時からほぼ毎日の研修です。教科書を使った日本語学習の他、求人票の見方、履歴



就労準備研修の修了式

書の書き方、面接の受け方などの指導や、税金、労働法規、雇用保険などの講義と、充実した内容でした。

受講生は来日したばかりの日本語初級者から、10年以上日本で暮らしている方まで、レベルも多様でしたが、講師や通訳の方の細やかなサポートのお陰で、途中でやめる人もなく、最後まで研修を続

けました。受講者の皆さんと何度かお話しする機会がありましたが、日本語力と日本に関する知識が増し、研修が進むにつれて、自信に満ちた明るい表情にかわっていったのが印象的でした。

▶ 留学生と“就活”

仙台市の外国人登録で最も多いのは「留学生」で、その比率の高さは福岡市に次いで全国第2位です。昨年度、留学生及び卒業生約300名を対象に行った調査では、「仙台は自然と都市が調和した暮らしやすい街」という好意的な意見が多い半面、アルバイトの機会が少ない、就職先がないなど、働くことに関しては環境が悪いことがわかりました。卒業後も仙台に残って働きたい、と考える人は少なくないようですが、仙台国際センターでたびたび開催される就職イベントでも、地元企業のブースは皆無です。

当協会では、国際交流や外国人支援活動に意欲を持つ留学生を「せんだい留学生交流委員」として委嘱していますが、その自主企画事業として、就職についての情報交換を行う「就勝（シュウカツ）のコツ」を11月に実施しました。留学生の就職活動を支援するために開催したこのイベントには、7カ国20名の留学生が参加しました。



留学生による企画「就勝のコツ」



せんだい留学生交流委員のメンバー

内定がとれた留学生と日本人学生、企業で働く元留学生、企業経営者によるパネルトークの後、グループディスカッションを行いました。参加者からは、「日本の会社では女性がお茶を入れるのか。」「残業は必ずすべきなのか。」という素朴な疑問も多く、留学生が日本の職場に対して不安を感じていることがわかりました。パネラーからは「外国で働くのだから、わからないことがあるのは当たり前。素直に前向きに頑張ること。外国人だからこそで

きることもある。」「自分の個性を大事にして、この会社で働きたいと思ったらとことん粘ること。」とアドバイスがありました。留学を通して異文化への対応力を身に付けた留学生を採用することは、海外との取引や進出を目指す地元企業にとっても大きなメリットとなるでしょう。当協会では今後、企業を対象とした調査を行う予定ですが、留学生の採用状況を把握すると同時に、さまざまな可能性を持った留学生の雇用について企業に考えてもらうきっかけにもできればと思います。



Profile

須藤 信子（(財) 仙台国際交流協会 企画事業課 企画係）

公立中学校で教員として勤務した後、平成3年に（財）仙台国際交流協会へ転職。
仙台市が誰にとっても暮らしやすい多文化共生の街となるため、
地域づくり事業や人材育成事業に携わっています。

豊後大野市の国際交流に関して

大分県豊後大野市清川支所総務市民課 国際交流員 黄 俊喆

안녕하세요!

豊後大野市で国際交流業務を担当しています黄俊喆（ファン・ジュンチョル）と言います。豊後大野市では2004年から勤務しています。当時はまだ豊後大野市の合併前で、大野郡清川村の国際交流のためにやって来ました。

現在、豊後大野市は色んな地域と国際交流を行っています。韓国では二か所あり、日本に一番近い外国の釜山広域市機張（キジャン）郡という地域と百済文化で有名な益山（イクサン）市です。その他、中国の湖北省荊州市荊州区や香港の中文大学との交流などありますが、四万人規模の比較的小さい市なのに国際交流の活発な皆さんには私もびっくりしています。

その中でも韓国との交流について少し紹介します。勿論、私が韓国出身ですので…。まず機張郡とは、中学生のホームステイ交流がその発端となりました。1994年から中学三年の生徒25名程がお互いの国を訪問し、パートナーの家で二泊ホームステイをしました。訪問前までは、初めての外国でのホームステイに不安になる生徒もたくさんいますが、最後のお別れの際には、涙、涙の別れになるのを毎年見て、言葉は上手く通じなくても友情を結ぶのは十分可能だと実感しています。



中学生の交流



一般市民の交流

機張郡とは、学生だけではなく一般市民も隔年のホームステイをします。大人は一泊だけですが、大人ならではの親しみ方で個人的にお互いを訪問する友人になった方もたくさんいます。

益山市とは、豊後大野市三重町で伝わる「真名野長者伝説」と益山市の「薯童説話」が非常に似ていることがきっかけで交流することになりました。今は、それぞれの地域の祭りに公演団体を派遣したり、市民の訪問団が訪問したりして交流を深めています。

国際交流は色々大変な面もあって、すぐ目に見える成果を上げることが難しい分野ですが、交流している地域の親密度が確実に上がっていることは実感しています。県内には他にもたくさんの国際交流が行われていると思います。全ての交流がもっと活発になるといいですね。そして皆さんのご支援とご参加も期待しております。

大分の 国際交流団体の 紹介

大分韓国教育院の紹介

大分韓国教育院は、大韓民国教育科学技術部（日本の文部科学省に相当）の在外教育機関で、在日コリアンと日本人を対象にして韓国語講座、韓国文化・歴史、国際理解教育などを行っています。



韓国語講座

2010年12月現在、11講座が運営されています。入門、初級1・2、中級1・2、セミナーの正規講座以外に独自で活動する韓国語サークルもあります。カリキュラムは、入門と初級では文法より会話中心に、中級以上では正確な韓国語運用を目標に構成されています。

特別講座

冬には、韓国の文化や歴史に関する特別講座が行われます。2009年2月は韓日交流史、2010年2月には「韓国の情」というタイトルで特別講座が開かれました。夏には、韓国語能力試験の準備のための特別講座が開かれます。

国際理解教育

学校や学級側の要請に応じて、小・中・高校生を対象に国際理解教育を実施します。2010年度は岩田中高と佐伯豊南高校で行われ、次世代の隣国理解を図っています。

事業

大分県の各学校への韓国語教材や韓国関連資料の寄贈、韓国語スピーチ大会の共同主催、韓国語講師の研修会開催、教材発行などを通して、韓日両国民の親善友好のために努めています。



韓国語スピーチ大会



国際理解教育

大分韓国教育院

<院長> 韓 萬基（ハン マンキ）
<住所> 大分市東浜 1-8-3 韓国会館 2 階
TEL/FAX (097)551-4922
<http://www.kankoku.or.kr/@group10/>

人物の紹介

～国際的に活躍している人々の紹介～

今回は韓国で朝鮮半島の伝統的文化をマスターして、日本で広める大分県の人物、大野博司さんを紹介します。

大野博司さんは、小さいころから韓国に対して関心を持っていた。21歳になって、韓国語を勉強し始めたが、インターネットもなく、辞書や教科書等も手に入りにくかったため、現在と比べて大変だったようだ。

1990年代初めに韓国に行った時に、光州(クァンジュ)で「サムルノリ」の演奏を聴いて、瞬時にその音楽文化の虜となってしまった。サムルノリ(사물놀이)とは、朝鮮の伝統楽器であるケン・ガリ・チン・チャング・ブクを用いた韓国の現代音楽で、農村地帯の伝統的な農楽をもとに、1970年代末に舞台芸術としてアレンジされたパーカッション・アンサンブルである。大野さんは運よく、サムルノリのメンバーたちと知り合って、音楽や楽器の指導を受けられるようになった。それ以来必ず毎年一週間は、韓国へ行ってサムルノリを学び、その文化の理解と知識を高めるようにしている。また、1994年から1995年まで韓国に5ヶ月間留学し、韓国の言葉と文化の理解をより深

めたのである。

現在は、サムルノリの九州コンサート・ツアー等のお世話をし、APUとNBUにあるサムルノリサークルのアドバイザーとして8年間活動し、去年は大分韓国教育院(左ページ参照)でチャング(太鼓)の教室を開催した。

「一人でも多くの日本人に、明るくて喜びにあふれた韓国音楽、韓国文化の素晴らしさに接していただきたいと思います」と大野博司さんは言う。なお、日本生まれ日本育ちの在日韓国人の子供達の中には、本名が名のれないなど明確なアイデンティティ

を確立するのに苦労したり迷ったりする子供たちが少なくない。そんな彼らに韓国の文化を紹介する活動にも大野さんは力を入れている。

そして、文化活動だけでなく、在日韓国人という日本社会の少数派の人権問題等の現状に居ても立ってもいられず、国籍制限などの差別をなくす課題も訴えているのである。

国際文化交流や生活支援などに力を入れ、多文化共生の最前線に立っている大野博司さん。頑張ってください。

取材：グリユツマハー・ゼンケ

現地で修行した 韓国伝統音楽を大分で広めて



JICA デスク大分 からのお知らせ

2011年もJICAデスク大分をよろしく申し上げます。JICAでは4月より海外ボランティアの春募集を開始します。4月23日(土)には大分市コンパルホールでの募集説明会(入場無料・予約不要)も予定しています。今回の『JICAデスク大分からのお知らせ』では、2010年3月からボリビア多民族国に派遣されている首藤 賢吾(しゅとう けんご)さんのお便りをお届けします。



木がほとんどなく雨もあまり降らない標高3700m、オルロという都市で青年海外協力隊員として野菜栽培の指導をしています。

ここではジャガイモや

キヌア(雑穀の一種)など乾燥に強い作物が栽培され、通常では野菜がほとんど育ちません。現在各地で温室の建設が行われ、温室での野菜栽培の指導を任されています。村によってはアクセスが悪く、人口が100人にも満たない村なども各地に点在しています。温室の構造は黄色の農業用ビニールの屋根に土壁

と日本とはまったく異なります。このおかげで低温や土の問題をクリアでき、多種の野菜を栽培することが可能となるのです。

オルロでは毎年3月上旬頃(今年は3月5日と6日)に南米で最も有名なお祭りが行われます。南米3大カーニバルの1つ、オルロのカーニバルは多数のグループが独特な衣装を着て町中を踊り歩くものです。ボリビア最大規模とあり、ボリビア中から多くの人が訪れて踊りに参加します。僕もTOBASというグループで踊る予定です。大きくジャンプして足を複雑に動かさねばならないため、ただ今練習中です。他にも世界最高所にある動物園や温泉プールがあります。世界最大の塩の湖であるウユニ塩湖へ向かう列車も出ています。標高3700mのオルロまで旅してみたいかがですか。



国際協力推進員の川崎(かわさき)までいつでもどうぞ

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko 総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



2011

FEB 2 ▶▶▶ MAR 3

プラザの各相談室のご案内

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

申し込み：不要

相談員：吉武ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）

相談料：無料

※毎月1回土曜日（13：00～16：00）国際交流プラザで開催するフィリピン人のための無料相談会です。悩み事を抱えている方、タガログ語で気兼ねなく話をしたい方はプラザにお越しください。

入国・在留国際手続無料相談

毎月第1日曜日

主催：ライフサポート大分

時間：13：00～16：00

会場：国際交流プラザ

相談料：無料

対応言語：日本語・英語

※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。外国の方とのかかわりの中で悩みの方の相談も受け付けます。

在住外国人のための無料相談室

毎月第3水曜日

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

申し込み：不要

※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。

相談員：伊藤精（行政書士）

相談料：無料

※県内在住外国人のための相談室です。

中国語無料相談

毎月第2・4火曜日及び毎週木曜日

時間：火曜日：13：00～16：00

木曜日：10：00～13：00

会場：国際交流プラザ

申し込み：不要

相談員：崔 文玉（ツイ・ウェンユウ）

相談料：無料

※県内在住中国語圏の方のための相談室です。

お問合せ先：

TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052

E-mail:in@emo.or.jp

FEB



5日（土）留学生と英語でクッキング

今回は、＜ベナン料理＞

～留学生と一緒にベナン料理を作ってみませんか？～

時間：2011年2月5日（土） ①10：00～12：00 ②14：00～16：00

※①、②とも同日に行います。内容は同じです。ご予約の際に希望の時間をお伝えください。

開催場所：まちなかプラザ

大分市中央町3丁目5-16 wazawazaビル3階（ガレリア竹町内）

定員：各9名様

参加料金：1,300円（お釣りのないようにご準備ください）

※学生：1000円（小・中・高・大学生）、幼児無料

準備する物：エプロン ※要予約・先着順 現在受付中です!!

予約電話番号：0977-73-9300（大学コンソーシアムおおいた）

詳しい情報はこちらへ：<http://ucon-oita.jugem.jp/>



主催

5日（土）タガログ語無料相談（毎月第1土曜日）

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



6日（日）入国・在留国籍手続無料相談（毎月第1日曜日）

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



11日（金・祝）国際理解セミナー in別府市

「クバーラ～アフリカ・マダガスカル遊び」

マダガスカルの鬼ごっこ・クバーラで遊びながら、国際理解してみませんか？

クバーラは集団ゲームで、年齢・性別・言葉・体力差関係なしに誰でも愉しく参加できます。

日時：2月11日（金・祝） 9：30～11：30

場所：野口ふれあい交流センター

（別府市野口元町12-43、別府駅より徒歩10分）

予約：必要 参加費用：無料

問合せ先：JICAデスク大分 TEL：097-533-4021

Email：jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



主催

11日（金・祝）国際理解講座

「ミクロネシアにあるもう一つの日本」

太平洋に浮かぶミクロネシアについて皆さんは知っていますか？そこに住んでいる人々は日本について知っています。なんとそこでは日本語も学ばれているのです。なぜミクロネシアで日本の文化が根付いているのか、一緒に謎を解いてみましょう！まずは歴史的背景について学び、次に実際に現地出身の留学生のお話を聞いて、次は私達日本人がミクロネシアについて知ってみませんか？

講師：大分県立芸術文化短期大学 国際文化学科（国際関係論、オセアニア研究）専任講師 博士（国際関係） 玉井 昇 氏

：大分大学 経済学部 3年生 マーシャル諸島出身留学生 Albert Alfred 氏

日時：2月11日（金・祝） 14：00～16：00

場所：iichiko総合文化センター B1F ≪映像小ホール≫

予約：不要 参加費用：無料

TEL：097-533-4021 Email：in@emo.or.jp



主催

16日（水）在住外国人のための無料相談（毎月第3水曜日）

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



主催

26日（土）第5回フランス社会文化理解講座

「旧植民地とフランス語圏の未来」

今回はフランスの歴史的背景を基に、フランスの旧植民地とフランス語圏の未来についてのフランス社会文化理解講座を開催します。フランス人国際交流員のアンブル・テスニエ氏のお話を聞きに皆さん是非ご参加ください。

時間：14：30～16：30

場所：iichiko総合文化センター B1F <映像小ホール>
予約：不要 参加費：無料
TEL：097-533-4021 Email：in@emo.or.jp

MAR



主催

5日(土) タガログ語無料相談(毎月第1土曜日)

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



6日(日) 入国・在留国籍手続無料相談(毎月第1日曜日)

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



主催

16日(水) 在住外国人のための無料相談(毎月第3水曜日)

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



主催

19日(土) 第6回フランス社会文化理解講座

「フランスのエリート養成システム」

全6回のフランス社会文化理解講座の最終回。最後のテーマはフランスの教育システムについての講座です。日本の教育システムと同じ所や違う所について、一緒に学びませんか?予約不要・参加費無料ですので、お気軽にお越しください。

時間：14:30～16:30

場所：iichiko総合文化センター B1F <映像小ホール>

予約：不要 参加費：無料

TEL：097-533-4021 Email：in@emo.or.jp

プラザの新しい 国際交流プログラムのご紹介!

OIP Language Exchange Program OIP語学交流プログラム

あなたの外国語学習のため、ネイティブの会話相手をお探しします。

外国語を精一杯努力して勉強しているのに、あるいはせっかく海外で学んできたのに、ネイティブの会話相手がいない、または活用する機会がないなら、おおい国際交流プラザまでご連絡下さい。語学交流、すなわち日本人と外国人双方の勉強・会話相手を募集し、マッチングする事業を現在開催中です。

是非国際交流プラザまで来て、本プログラムに参加・登録して下さい。あなたにマッチするランゲージパートナーをお探しします。

【お申し込み・お問い合わせ】

(財)大分県文化スポーツ振興財団 国際交流課

TEL:097-533-4021 E-mail:in@emo.or.jp URL:http://www.oitaplaza.jp

「日本語deトーク」を再開します!

国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に国際交流プラザで「日本語 de トーク」を開催します。この日本語 de トークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人のこと、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。

興味があるテーマに気軽に参加してみませんか?

日にち：1月22日、2月5日、3月26日(各土曜日)

時間：13:00～14:30

会場：iichiko 総合文化センター B1F <国際交流プラザ>

定員：10名(先着順) ※人数把握のため要予約 参加費：無料

【お申し込み・お問い合わせ】

(財)大分県文化スポーツ振興財団 国際交流課

TEL:097-533-4021 E-mail:in@emo.or.jp URL:http://www.oitaplaza.jp

※日時、テーマはあくまでも予定で、随時変更する可能性があります。詳しい日程などは国際交流プラザまでお問い合わせください。

異文化教室

立命館アジア太平洋大学孔子学院

住所：別府市十文字原1丁目1番

申込：TEL 0977-78-1188

漢詩と中国茶

第5回「日本漢詩と俳句」

日時：2月17日(木) 18:30～20:00

第6回「中国現代詩」

日時：3月17日(木) 18:30～20:00

会場：大分市コンパルホール 305 会議室

受講料金：700円 申込必要(定員35名)

中国料理講座

第5回「肉汁たっぷりの小籠包を作ります。」

日時：2月19日(土) 13:00～15:30

会場：別府市中部地区公民館

受講料金：2,200円 申込必要(定員35名)

中国薬膳料理

講座&実習 第6回「早春の薬膳」

日時：2月12日(土) 13:00～15:00

講座&実習 第7回「ひなの薬膳」

日時：2月26日(土) 13:00～15:00

会場：大分市コンパルホール 4F 調理室

受講料金：2,500円 申込必要(定員48名)

大分カルチャー学院

住所：別府市楠町4-18 マルシヨク流川店 3F

申込：TEL 0977-80-6288

イタリア料理

日時：2月1日(火) 10:00～13:30

3月1日(火) 10:00～13:30

会場：大分カルチャー学院

受講料：3,150円(実費) 申込必要

英会話カフェ

日時：第1・3水 13:30～14:45 /

18:30～19:45

会場：大分カルチャー学院

受講料：3,150円 申込必要



わたしたちの声を聞いてください!

「新しい日本」

メリッサ・メイヤー

年末にアメリカに帰りました。アメリカに帰るたびに楽しみにしているのは、家族や友達と会うのはもちろんですが、恋しい食べ物を久しぶりに食べられることです。アメリカンピザやサンドウィッチ、ベーグルやアメリカ式の寿司をいつも楽しみにしています。日本で寿司が食べられるのに、わざわざアメリカに帰っている短い期間に和食屋さんに行かなくてもいいのではないかと思います。でも、アメリカ式の寿司は日本の寿司とは別物です。

日本でもアメリカの「カリフォルニア・ロール」が知られているらしいですが、アメリカの巻きずしの中ではカリフォルニア・ロールが一番シンプルで、他にも豪華な巻きずしがたくさんあります。例えば、私の地元の名を付けて、生鮭とクリームチーズを使った「フィラデルフィア・ロール」。軽く揚げられたうなぎ、カニ、アボカドなどが巻かれた「ラスベガス・ロール」。私の大好きな「スパイダー・ロール」(クモ巻き)は揚げたソフト・シェール・クラブがメインで、その他に色彩がきれいな「レインボー・ロール」や、薄く切られたアボカドに巻かれた「キャタピラ・ロール」(いも虫巻き)など、たくさん種類があります。

アメリカでは日本ほど新鮮な魚が採れないので、このように揚げたり、新鮮な野菜を巻いたり、手に入れられる材料をかしこく工夫しています。日本に来たことがないアメリカ人はこのような巻きずしが日本にあまりないということを知りませんが、私はアメリカへ帰ってアメリカ化された新しい日本を発見するのが楽しいです。日本の食べ物やポップカルチャー、最先端テクノロジーなどアメリカでは日本が幅広く高い注目を集めていると強く感じます。



キャタピラ・ロール

INFORMATION

通訳・翻訳の無料サービス

おおいた国際交流プラザでは外国語能力の高い通訳・翻訳ボランティアが登録されています。イベント、ワークショップ、県民と外国人の交流や来日した研究者の通訳の補助、または手紙、契約書、イベント企画書等の翻訳で活躍していただいております。

外国人と話したいから・
国際的イベントを開催したいから、
「通訳者が必要!」

資料、プログラム、手紙などの
「翻訳者が欲しい!」

などと言う場合、

おおいた国際交流プラザにご連絡下さい。

現在、以下の9か国語の通訳・翻訳ボランティアさんがいます。

英語	イタリア語
中国語	ロシア語
韓国語	スペイン語
ポルトガル語	フランス語
ドイツ語	

※非営利目的のご依頼のみ承ります。

ボランティア募集中

通訳・翻訳ボランティアを常時募集しておりますので、自分の語学能力を活かしたいという方は是非ご連絡下さい!

TEL:097-533-4021

E-mail:in@emo.or.jp

編集後記

今回のLa Estaciónは、韓国に関わる内容が多いですね。それは、大分県でも韓国との交流が盛んだからです。姉妹都市交流であれ、団体の活動であれ、いろいろな方法で行われています。日本と韓国とは、共通点が非常に多く、共有の歴史も縄文時代まで遡れるほど長く、ドイツ人の

私の目から見ると、日本と韓国は兄弟のような存在です。韓流ということで韓国のドラマ、映画や音楽などが日本で大人気ですが、最近韓国でも日本のテレビドラマや漫画などがどんどんポピュラーになっているらしいです。

しかしながら、日本と韓国はもっと交流したり協力したりするべきで、もっと協調・協和すると双方に大きな利益が生まれると私は思います。大分県で行われ

ている日韓交流の一例を紹介してみましたが、本当はこれ以上にまだまだ沢山あります。是非皆さん、ご参加下さい。

また、多くの韓国の観光客が大分に来てくれているのと同様に、大分県の皆さんも、是非一度韓国に行き、実際に自分の目で韓国を見ていただきたいと思います。

グリュツマハー・ゼンケ

おおいた国際交流プラザ

La Estación 2011 Vol.29

発行日 平成23年1月25日(奇数月末発行予定)
編集・発行 (財)大分県文化スポーツ振興財団
国際交流プラザ

〒870-0029 大分市高砂町2番33号

iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内

開館時間: 9:30~19:00

閉館日: 日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日

TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052

E-mail: in@emo.or.jp

URL: http://www.oitaplaza.jp/

